

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	4 未来創造・地域社会戦略			
目指す姿	2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現			
施策の方向性	④安心して子育てできる体制の充実			
事業名	保育対策総合支援事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	幼保推進課	
班名	調整・企画チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

国では保育士確保プラン(平成27年策定)に基づき、平成29年度から保育人材確保事業を実施しており、本事業で定める各種事業を実施する市町村に対しては、県を通じて財政支援している。今後も引き続き保育人材の確保等を進めるため、本事業を活用して保育士の就業継続や離職防止に資する各種事業を実施する市町村を総合的に支援する。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1 保育補助者雇上強化事業	保育事業者による保育士資格をもたない保育補助者の雇い上げに要する経費に対し助成する。	7,962		
2 保育体制強化事業	保育士の業務負担の軽減を図るため、清掃、消毒、配膳等の保育に係る周辺業務を行う保育支援者(保育士資格不要)の配置に要する経費に対して助成する。	6,525		
3 働きやすい職場づくり事業	保育現場の改善に向けた取組を推進するため、勤務形態の改善方法やICT活用による業務の効率化等について、実際の事例を学ぶセミナーを開催する。	180		
4 医療的ケア児保育支援事業	保育所等における医療的ケア児の受入体制の整備をするため、本事業を実施する市町村に対し、対象経費の一部を補助する。	9,881		
5				
その他合計 ( 件)				
財源内訳	左の説明	24,548	0	0
国庫補助金	保育対策総合支援事業費補助金	17,856		
県債				
その他				
一般財源		6,692	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	保育人材確保事業を実施する市町村数									
指標式	保育人材確保事業を実施する市町村数									
出典	補助金実績報告書									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a	-	-	-	-	-	-	-	6	7	8
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a	-	-	-	-	-	-	-			
実績b										
b/a										

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	戦略6 教育・人づくり戦略			
目指す姿	1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成			
施策の方向性	① 地域に根ざしたキャリア教育の推進			
事業名	特別支援学校生の職域拡大・職場定着促進事業	事業年度	令和5 令和6	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	特別支援教育課	
班名	指導チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

職域拡大推進員と特別支援学校教員による職域拡大・職場定着に向けた取組を中心に、関係する会議や職業教育、理解推進の取組を関連させながら行うことにより、特別支援学校生の職域拡大と職場定着の促進を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	特別支援学校生の職域拡大・職場定着促進事業	職域拡大推進員の配置、職域拡大・職場定着促進会議の開催、職域拡大を踏まえた職業教育の充実、職域拡大・職場定着に係る理解推進	3,108		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			3,108	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			3,108	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	特別支援学校高等部卒業生の就職者の割合									
指標式	就職者数/卒業生数									
出典	第四次秋田県特別支援教育総合整備計画									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								41	42	43
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	戦略4 未来創造・地域社会戦略			
目指す姿	2 確かな学力の育成			
施策の方向性	② 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進			
事業名	切れ目ない支援体制充実促進事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	特別支援教育課	
班名	指導チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

特別な支援を必要とする子どもに対して、就学前から卒業後に至るまでの切れ目ない支援体制を促進するため、個別の教育支援計画の活用による校(園)内支援体制の機能向上及び関係機関との連携強化、保護者等に対する特別支援教育への理解推進を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	切れ目ない支援体制充実促進事業	小・中学校等、高等学校特別支援チームによる相談支援、新任特別支援教育コーディネーター研修会、心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進の実施等	1,344		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			1,344	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			1,344	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	特別支援教育に係る県教育委員会事業に参加した県民が特別支援教育課ホームページを閲覧した割合									
指標式	ホームページ閲覧者/特別支援教育に係る県教育委員会事業に参加した県民									
出典	第四次秋田県特別支援教育総合整備計画									
把握時期	当該年度2月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								70	75	80
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和5年度)

政策	6 教育・人づくり戦略			
目指す姿	2 確かな学力の育成			
施策の方向性	4 魅力的で良質な教育環境づくり			
事業名	教職員資質能力向上事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	総務課	
班名	企画チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

教員免許更新制の廃止に伴い、令和5年度より、教職員一人一人が、毎年、研修計画を策定し、学校管理職による指導助言と組み合わせる資質能力の向上を図る仕組みが導入されたことから、教職員の自主的・主体的な研修受講を推進するため、研修講座の再編・拡充、研修体制の整備を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度	前年度	最終年度
			予算額	決算(見込)額	決算(見込)額
1	教職員資質能力向上事業	県内公立学校に勤務する教職員が受講する研修講座の再編・拡充、研修体制の整備を図る。	6,083		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			6,083	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			6,083		0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	総合教育センターの研修講座受講者数									
指標式	総合教育センターの研修講座受講者数の合計									
出典	総合教育センター調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3300	3300	3300
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和5年度)

政策	戦略4 未来創造・地域社会戦略			
目指す姿	2 確かな学力の育成			
施策の方向性	(4) 魅力的で良質な教育環境づくり			
事業名	教育的ニーズに応じた特別支援学校施設等整備事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	特別支援教育課	
班名	調整・企画チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

「第四次秋田県特別支援教育総合整備計画(R5～R9)」に基づき、地域や各学校の実情に応じた校舎の改築に伴う備品等の整備、通学用バスや各種設備の更新を行い、特別支援学校の教育の充実を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	特別支援学校学習環境整備事業	校舎改築に伴い発生した不要品の運搬・処分、緊急(災害)情報等を目で確認する為の文字情報システムや給食用厨房設備の更新を行う。	17,042		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳		左の説明	17,042	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			17,042	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

## 【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

効果を数値化することが難しいため。

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業により児童生徒が円滑に充実した学校生活を送ることが見込まれる。  
事業実施後に該当する所属へアンケートをとる。

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	戦略4 未来創造・地域社会戦略			
目指す姿	2 確かな学力の育成			
施策の方向性	④ 魅力的で良質な教育環境づくり			
事業名	特別支援学校教員の専門性向上サポート事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	特別支援教育課	
班名	管理チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

高度な専門性を有する特別支援学校教員として、視覚支援学校の教員から歩行指導員と点字指導員、聴覚支援学校の教員から言語聴覚士の有資格者を養成し、視覚支援学校及び聴覚支援学校の教職員一人一人の専門性の向上に寄与するとともに、医療機関等との連携強化により、特別支援学校のセンター的機能の一層の充実を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	高度な専門性を有する特別支援学校教員養成事業	高度な専門性を有する教員として、特別支援学校教諭から歩行指導員2名と点字指導員5名、言語聴覚士2名を養成する。	2,000		
2	車椅子移乗等介助員配置事業	車椅子を使う児童生徒の移乗や移動等の業務を補助するスタッフを配置し、教員の時間的、身体的負担の軽減を図り、もって指導・支援の質の向上を図る。	7,856		
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			9,856	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			9,856	0	0
特別支援学校教員の専門性向上サポート事業					

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	高度な専門性を有する特別支援学校教員育成数【業績指標】									
指標式	言語聴覚士国家試験合格者、点字指導員、歩行指導員資格取得者									
出典	特別支援教育課調べ									
把握時期	言語聴覚士(令和6年度末)、点字指導員(令和5年度末、6年度末)、歩行指導員(令和6年度末)									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								1	2	2
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名	車椅子移乗等介助員配置数【成果指標】									
指標式	車椅子移乗等介助員配置制度を活用して教員の負担軽減が図られた割合									
出典	特別支援教育課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								80	85	90
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和5年度)

政策	ふるさとの未来を拓く人づくり戦略			
目指す姿	3 グローバル社会で活躍できる人材の育成			
施策の方向性	① グローバル化に対応した英語教育の推進			
事業名	AKITAグローバル人材育成事業	事業年度	R5 R9	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	高校教育課	
班名	英語教育推進チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

小中高一貫した英語教育の推進により、異文化に対する理解の促進及び児童生徒の英語による発信力の強化を通して、複雑化するグローバル社会で活躍できる人材の育成を図る。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	発信力強化プロジェクト事業	自分の考えや気持ちを英語で発信できる児童生徒の育成を目指し、校外外で発信する機会の充実を図る。	120,739		
2	グローバルコミュニケーションプロジェクト事業	イングリッシュキャンプ等の校外での活動を通して、異文化理解及び英語コミュニケーション能力を強化する。	8,771		
3	指導力向上プロジェクト事業	高度化する英語教育に対応できるよう、大学等と連携し教員の指導力と英語力の向上を図る。	1,084		
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳		左の説明	130,594	0	0
国庫補助金	国際文化交流促進費補助金		2,400		
県債					
その他	労働保険料納付金		480		
一般財源			127,714	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	英語教育実施状況調査【成果指標】									
指標式	英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合									
出典	文部科学省									
把握時期	翌年度5月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								56	58	60
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名	英語ディベート交流会等に参加した生徒数【成果指標】									
指標式	即興型英語ディベート大会及びe-Debate交流会に参加した生徒の合計									
出典	高校教育課調べ									
把握時期	当該年度12月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								110	115	120
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	教育・人づくり戦略			
目指す姿	4 豊かな心と健やかな体の育成			
施策の方向性	③学校における体育活動の充実と健康教育の推進			
事業名	秋田型部活動支援事業	事業年度	R5 R7	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	保健体育課	
班名	学校体育・部活動チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

運動部活動の一層の活力アップを図り、児童生徒が生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体を育成するため、中学生及び高校生の経済的負担を軽減し、安心してスポーツに専念できる環境を整備するとともに、校種間や組織間等の連携した取り組みの推進を支援することで、運動部活動の充実と活力アップにつなげる。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	中学校部活動地域移行推進事業	スポーツ振興課と協力体制を構築し、県連絡協議会の運営、国と市町村との連絡調整、指導者・運営主体の発掘確保、人材バンクの構築等の実証事業を実施する。	23,395		
2	部活動指導員配置事業	専門的な指導技術を要する部活動に対し、部活動指導員を配置することで、各部の質的向上と教員の負担軽減を図る。	21,841		
3	運動部活動サポート事業	選手が各種大会で活躍できるよう、運動部活動指導者の指導力向上、選手や保護者への栄養指導、校種間連携等の支援を行う。	3,636		
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			48,872	0	0
左の説明					
国庫補助金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業、中学校における部活動指導員の配置支援事業		34,191		
県債					
その他					
一般財源			14,681	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	インターハイ入賞数									
指標式	インターハイ入賞数									
出典	保健体育課調査									
把握時期	当該年度2月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a					55	55	45	47		
実績b										
b/a					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

## 【指標Ⅱ】

指標名	特別国民体育大会									
指標式	特別国民体育大会									
出典	保健体育課調査									
把握時期	当該年度2月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a					230	230	260	230		
実績b										
b/a					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--



## 事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	6 教育・人づくり戦略			
目指す姿	6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築			
施策の方向性	②良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用			
事業名	メタバース×MUSEUMあきた構築事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	教育庁	課室名	生涯学習課	
班名	生涯学習・学芸振興チーム			

## 1 事業実施の背景及び目的

近代美術館の特色あるコンテンツを、現実の制約(距離・時間・物質・身体等)を超えて、誰でも、いつでもどこにいても気軽に体験し、豊かさを享受できるように、近代美術館ホームページを入口として、最先端のデジタル技術「メタバース」による仮想近代美術館「メタバース×キンピ」を構築する。

## 2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	メタバース×MUSEUMあきた構築事業	「メタバース×MUSEUMあきた」のポータル構築 近代美術館ホームページリニューアル 近代美術館ロゴマークの新設	27,915		
2					
3					
4					
5					
その他合計 ( 件)					
財源内訳			27,915	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			27,915	0	0

## 3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

## 【指標Ⅰ】

指標名	メタバース×キンピの利用者数									
指標式	メタバース×キンピへの訪問・アクセス数(累積)									
出典	生涯学習課調べ(カウンター計測)									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a	-	-	-	-	-	-	-	2000	14000	26000
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## 【指標Ⅱ】

指標名	利用者満足度アンケート									
指標式	アンケートにおいて「満足」「やや満足」と回答した割合(%)									
出典	生涯学習課調べ(アンケート集計)									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a	-	-	-	-	-	-	-	80	85	90
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

## ◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

## ①指標を設定することができない理由

--

## ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--